

佐潟自然生態観察園建設予定地における植生回復

狩野 裕章

佐潟公園化計画の一環として自然生態観察園の建設が現在進んでいる。観察園の土地の造成は去年の秋頃に行われた。重機による植生の全面破壊、完全裸地化により、造成直後は植物一本も生えていない場所に変貌した。その後、時間の経過に伴い植物の進入がみられ、少しずつ植生の回復が進んでいる。

護岸造成後に芽生えた植物

造成地に生えてきた植物は約80種を数える、ここで造成地の範囲は観察園のわきを通っている道路の端～護岸の法面～水面（湖底）までを指す（図1）。

法面より水面側に80種のうち約半分が生えていた（表1）。水面側の湿地状態の場所にはトキンソウ、スカシタゴボウ、アゼナやカヤツリグサ科の植物を中心とする水田雑草群落が形成されていた。それよりも水面側の水位の低いところには、ヒメガマ、マコモ、フトイを中心とする群落が形成されていた。更に水面側の水深が深い（80cmより浅い）ところには、浮葉植物ではハス、オニバス、ヒシが生育していた。ハスは種子から発芽したものである。沈水植物ではオオトリゲモ、エビモが確認できた。

一方、道路脇と法面ではヨシ、スギナ、ヤハズソウが比較的大きな群落を作っていた。その他にシロツメクサ、メマツヨイグサ、アメリカセンダングサ、オオアレチノギクなど（表1）が生育していた。

ところで、道路を建設する際に他地域から粘土質の泥が持ち込まれたので、法面も粘土質の泥で固めてある。冬の間には法面の泥が浸食により、崩れて法面と湖底の間（図1の矢印の部分）に溜まり、粘土質の泥と潟の泥が混ざる部分が出来ている。その部分を中心に生育する種としてヤナギ（種名は不明）およびサデクサ、イヌゴマ、があり、特にヤナギは種子から発芽したと思われる個体が法面と平行な帯状に多数存在した。

貴重な植物

全国的にも貴重な植物としてレッドデータブックに記載されている植物も何種か確認できた。

佐潟では上佐潟と本佐潟の東側を中心に生育しているオニバスは32個体の発芽が確認されたが、いずれの個体も8月には消失してしまった。原因は不明である。

ミズアオイは約250個体の確認ができたが、花を咲かせるくらいに大きな個体になったのはその内の4分の1に満た

ない。その原因として、6月下旬～7月上旬の水位の上昇が考えられる。水位の上昇にともない、完全に水に没した小さな個体は消えてしまった。

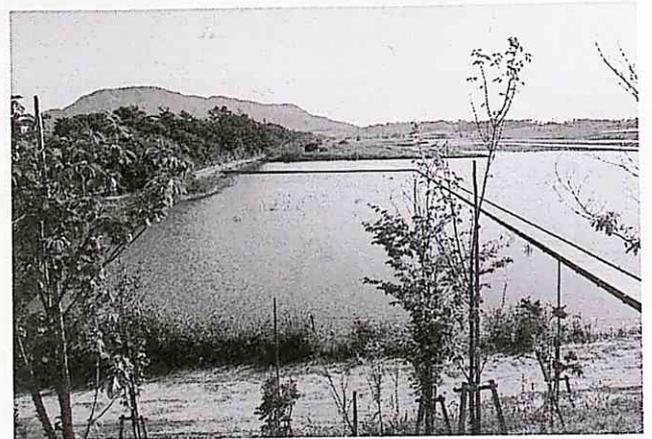
佐潟では上佐潟の一部にのみ生育が確認されているスジヌマハリイも数個体確認できた。

そのほかに、佐潟では希少であるといわれているサデクサ、フトイ、ヒメホタルイの生育も確認された。

さいごに

現在佐潟は、岸側ではヨシ、水面ではヒシ、ハスが繁茂して単調な植生であるとされている。多様な植生を復元するために特定の種の駆除や人為的攪乱をすることも有効な手段かもしれないが、科学的根拠や十分な調査を行い、科学的根拠を明確にした上で公園建設及び保全が行われることを希望する。十分な調査、検討なしに試しにやってみようという行為は自然環境の保全の観点からさけるべきであろう。

市当局は公園整備の基本的な考え方の中で「良好な植生や野鳥の生息する恵まれた自然環境の保全につとめる」と言っている。果たして重機を使った完全裸地化をして植生を作り上げる公園整備がそれにふさわしいか再考してほしい。



写真：7月1日生態観察園建設予定地の様子。雨のためにかかり増水している。現在は木道が奥の方まで伸びている。

（写真提供：佐潟環境ネットワーク）

道路側～法面		法面～水面	
スギナ	ヨモギ	ミスオトギリ	スジヌマハリイ
カナムグラ	アメリカセンダングサ	スカシタゴボウ	ヒデリコ
イヌタデ	タウコギ	キカシグサ	メアゼテンツキ
アレチギシギシ	オオアレチノギク	ヒシ	オモダカ
ヨウシュヤマゴボウ	ヒメムカシヨモギ	チョウジタデ	クワイ
スベリヒユ	アキノノゲシ	ドクゼリ	ミズアオイ
ウシハコベ	ノボロギク	セリ	コナギ
シロザ	ノゲシ	アメリカアゼナ	コウガイゼキショウ
ヒメジソ	セイヨウタンポポ	アゼナ	イボクサ
カワラケツメイ	クサイ	トキンソウ	ケイヌビエ
ツルマメ	ツユクサ	オオトリゲモ	マコモ
ヤハズソウ	ギョウギシバ	エビモ	ヒメホタルイ
メドハギ	メヒシバ	ハス	フトイ
シロツメクサ	アキメヒシバ	オニバス	カンガレイ
メマツヨイグサ	イヌビエ	ショウブ	サンカクイ
ガガイモ	オヒシバ	コウキクサ	タイワンヤマイ
アメリカネナシカズラ	ヨシ	ヒメガマ	ウキヤガラ
ワスレナグサ	アキノエノコログサ	タマガヤツリ	
イヌホオズキ		コゴメガヤツリ	
オオバコ		マツバイ	

全体に生育する種	粘土質の泥と瀉の泥が混ざる部分
オオイヌタデ	ヤナギ属sp.
クサネム	サデクサ
タカサブロウ	イヌゴマ
コブナグサ	ハハコグサ

表1：観察園予定地で確認出来た種

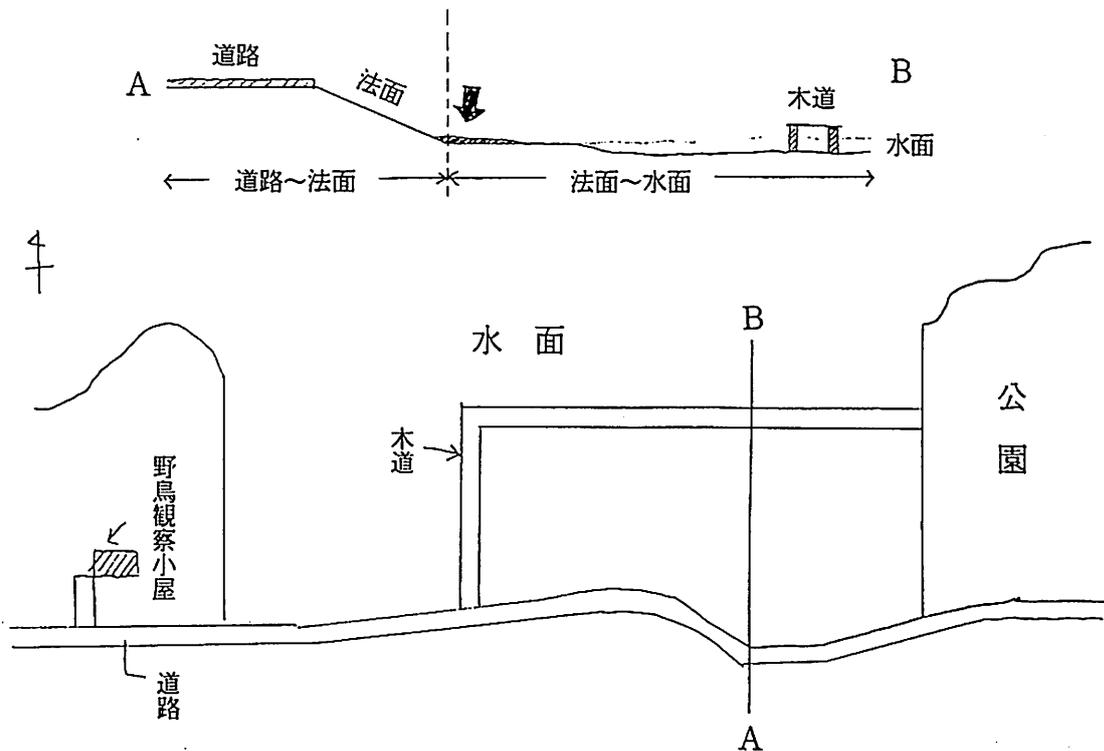


図1 自然生態観察園見取り図